

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果

～厚真町の児童生徒の概況～

1 調査の目的

児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育に関する施策と継続的な検証改善サイクルを確立して学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査実施日

令和6年4月18日（木）

3 調査の対象児童生徒（実施総数）

	厚真町	北海道（公立）	全国（公立）
小学校	37 人	34,531 人	974,364 人
中学校	30 人	33,614 人	875,574 人

4 調査の内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数・数学）
- (2) 児童生徒に対する調査
- (3) 学校に対する調査

5 結果内容の構成

- (1) 調査結果の概況
- (2) 領域別の結果概況（小学校国語・算数、中学校国語・数学）
- (3) 児童・生徒質問紙調査の概況（小・中学校）
基本的な生活習慣、学習時間等、自尊意識、将来に関する意識、規範意識

厚真町教育委員会

令和6年9月

(1) 調査結果の概況

① 厚真町の児童（小学校）の概況（数値は、「%」を表しています）

【国語】

国語 平均正答率

厚真町	63
北海道（公立）	67
全国（公立）	67.7

本町の児童の国語の平均正答率は
全道、全国よりやや低い
範囲に属しています。

【算数】

算数 平均正答率

厚真町	60
北海道（公立）	61
全国（公立）	63.4

本町の児童の算数の平均正答率は
全道と同様の範囲に属しています。

② 厚真町の生徒（中学校）の概況（数値は、「%」を表しています）

【国語】

国語 平均正答率

厚真町	51
北海道（公立）	58
全国（公立）	58.1

本町の生徒の国語の平均正答率は
全道、全国よりやや低い
範囲に属しています。

【数学】

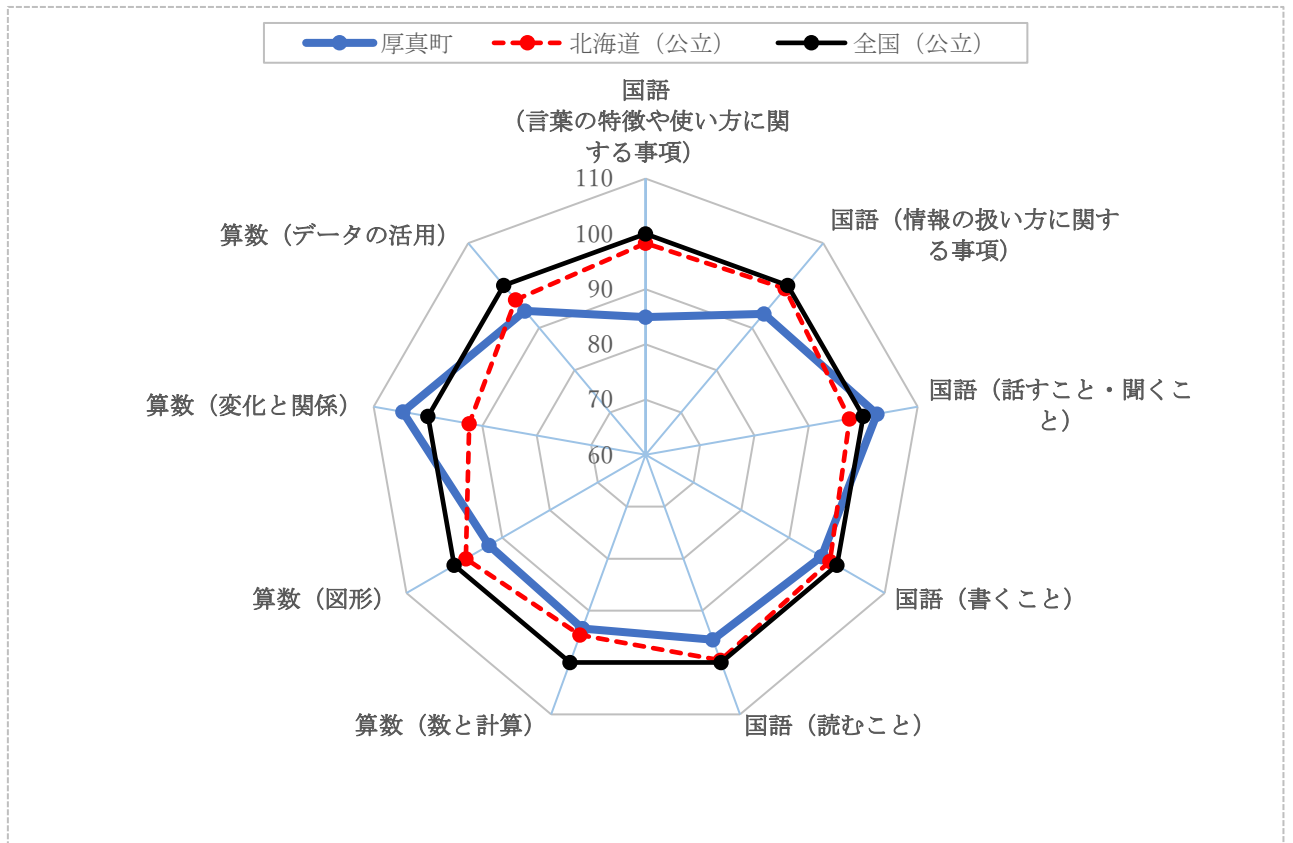
数学 平均正答率

厚真町	45
北海道（公立）	51
全国（公立）	52.5

本町の生徒の数学の平均正答率は
全道、全国よりやや低い
範囲に属しています。

(2) 領域別の結果概況 (グラフは、全国（公立）の平均値を100として表しています)

【小学校】



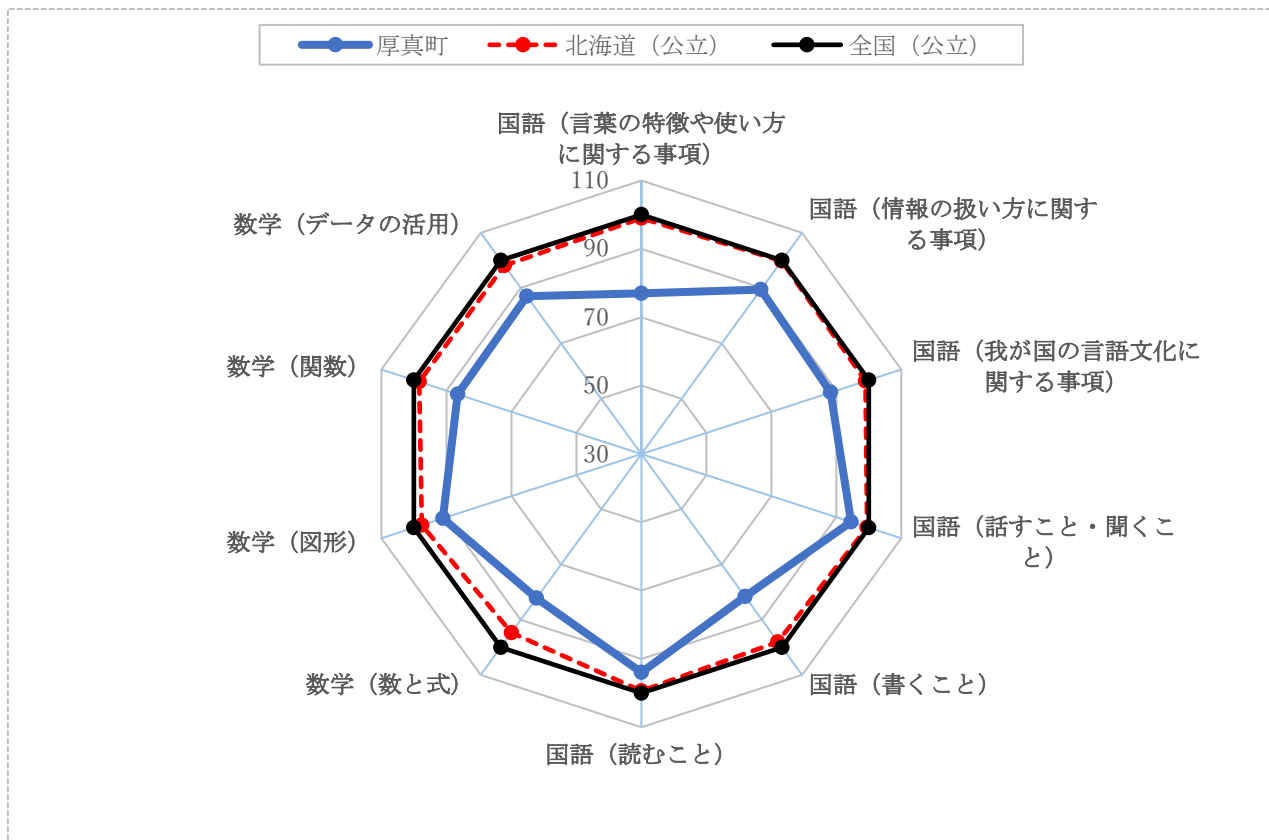
【国語】

- ・「話すこと・聞くこと」は、全国平均よりもやや高くなっています。
- ・「書くこと」「読むこと」は、全国平均とほぼ同様となっています。
- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、全国平均より低くなっています。

【算数】

- ・「変化と関係」は、全国平均より高くなっています。
- ・「数と計算」「図形」「データの活用」は、全国平均とほぼ同様となっています。

【中学校】



【国語】

- ・「話すこと・聞くこと」「読むこと」は、全国平均とほぼ同様となっています。
- ・「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」は、全国平均よりやや低くなっています。
- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」「書くこと」は、全国平均より低くなっています。

【数学】

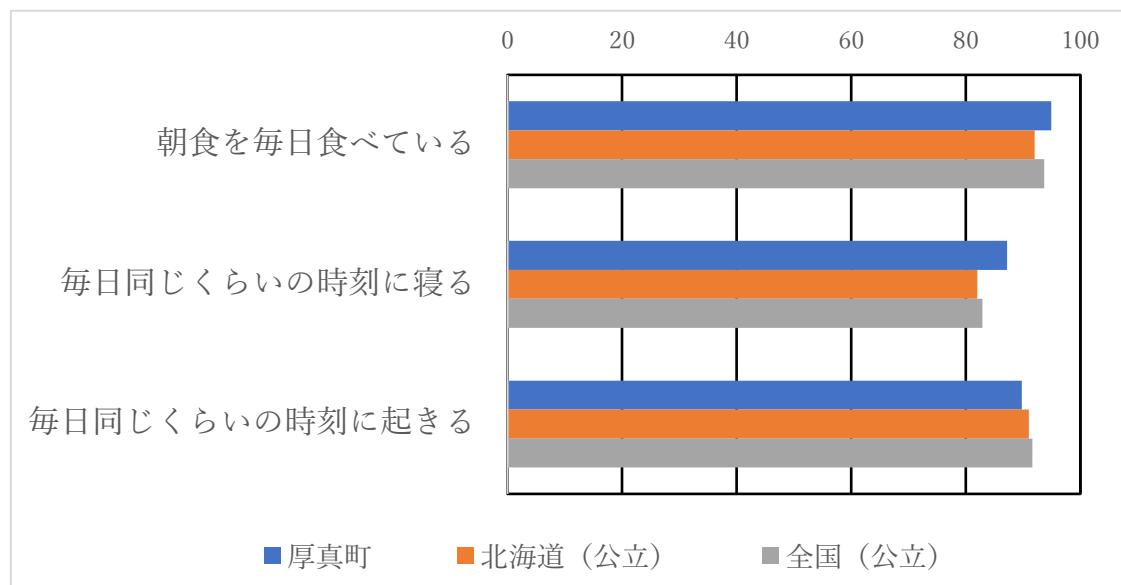
- ・「図形」は、全国平均とほぼ同様となっています。
- ・「数と式」は、全国平均より低くなっています。
- ・「関数」「データの活用」は全国平均よりやや低くなっています。

(3) 児童質問紙調査の概況(小学校)

【生活習慣】

質問の内容（数値は、「%」を表しています）

質問項目	厚真町	北海道 (公立)	全国 (公立)
朝食を毎日食べている	94.9	92.0	93.7
毎日同じくらいの時刻に寝る	87.2	82	82.9
毎日同じくらいの時刻に起きる	89.8	91.0	91.6



(状況)

- ・「朝食を食べている」「起きる時刻」の割合については、全国平均とほぼ同様となっています。
- ・「寝る時刻」の割合については、全国平均よりもやや高くなっています。

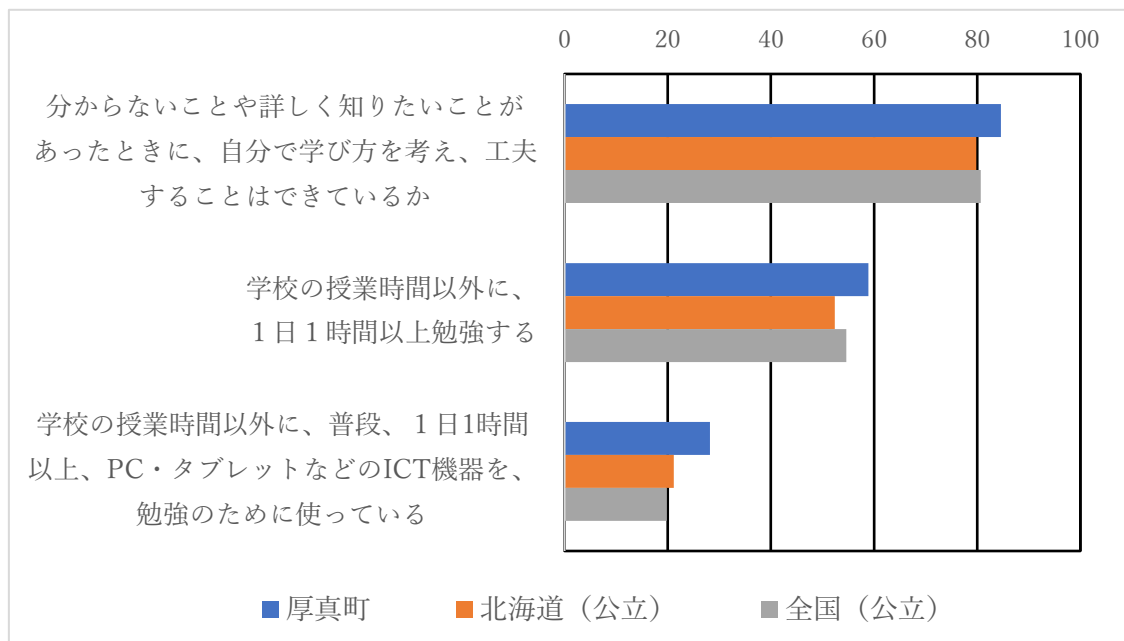
【今後の方策】

各小学校で取り組んでいる生活リズムチェックやメディアコントロールチャレンジの充実、また生活習慣の改善に向けた学校と家庭との連携をさらに推進して参ります。

【学習習慣】

質問の内容（数値は、「%」を表しています）

質問項目	厚真町	北海道 (公立)	全国 (公立)
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできているか	84.6	79.8	80.7
学校の授業時間以外に、普段、1日1時間以上勉強する	58.9	52.4	54.6
学校の授業時間以外に、普段、1日1時間以上、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っている	28.2	21.2	19.8



（状況）

- ・「自分で学び方を考え、工夫することはできているか」「学校の授業時間以外に1日1時間以上勉強する」「学校の授業時間以外に、普段、1日1時間以上、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っている」割合については、全国平均よりも高くなっています。

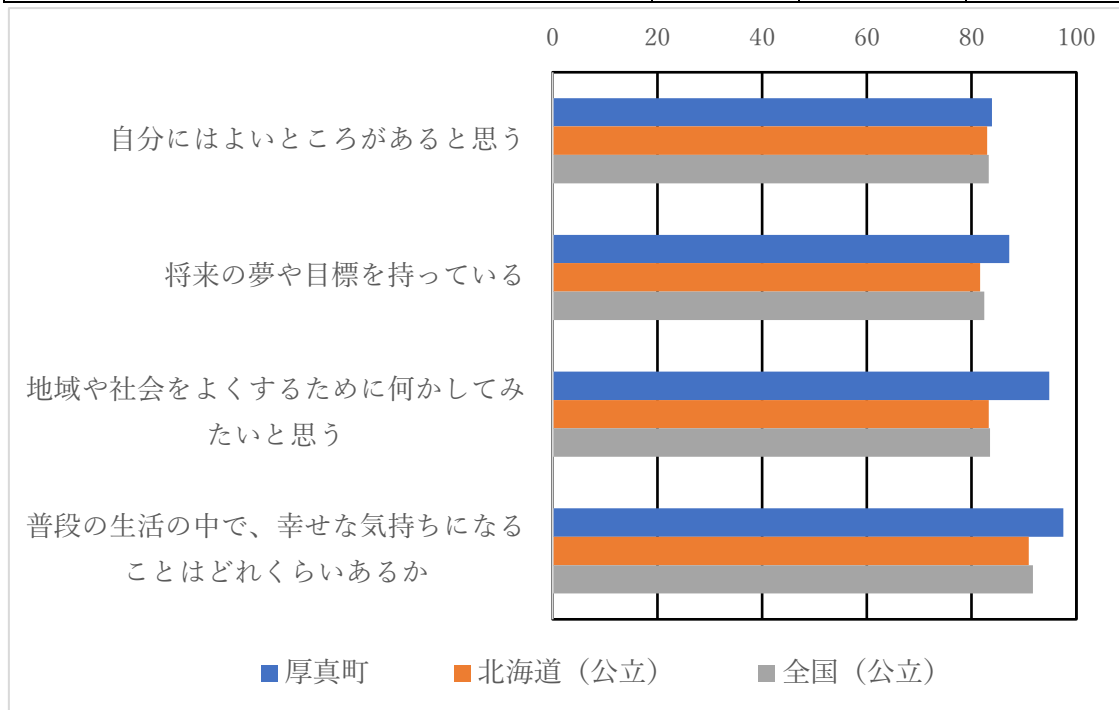
【今後の方策】

これらの項目において、家庭学習等に主体的に取り組むことができる児童の姿が見られます。ICT機器を活用した学習時間が、全国よりも上回っている結果が見られましたが、ICTやその他の学習方法を含め、一層定着できるように学校とも効果的な利活用の在り方を検討して参ります。

【自尊意識、規範意識、地域社会等】

質問の内容（数値は、「%」を表しています）

質問項目	厚真町	北海道 (公立)	全国 (公立)
自分にはよいところがあると思う	83.9	83	83.3
将来の夢や目標を持っている	87.2	81.6	82.4
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	94.8	83.3	83.5
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいあるか	97.5	90.9	91.7



(状況)

- ・「自分にはよいところがあると思う」割合については、全国平均とほぼ同様となっています。
- ・「将来の夢や目標を持っている」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいあるか」の割合については、全国平均よりも高くなっています。

【今後の方策】

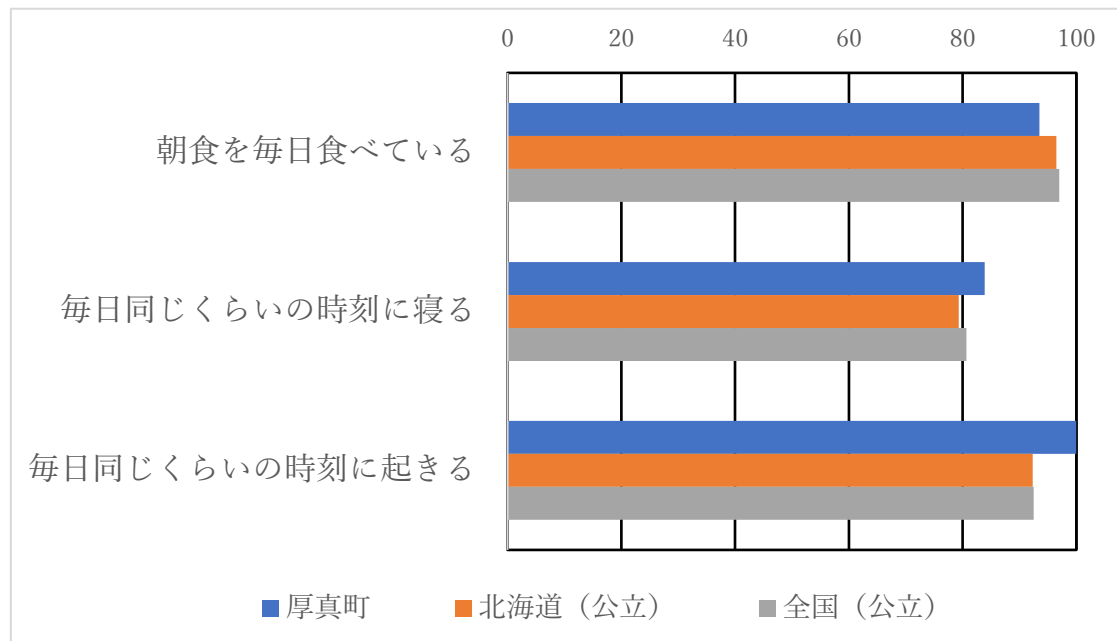
これらの項目において、全国平均と同等、または高くなりました。今後も道徳科を中心とした教科や総合的な学習の時間、学校行事等の機会を通して自分のよさに気づき伸ばす取組、自分たちの住むまちの未来について考えるふるさと教育をさらに推進して参ります。

(4) 生徒質問紙調査の概況(中学校)

【生活習慣】

質問の内容（数値は、「%」を表しています）

質問項目	厚真町	北海道 (公立)	全国 (公立)
朝食を毎日食べている	93.5	96.5	97
毎日同じくらいの時刻に寝る	83.9	79.3	80.7
毎日同じくらいの時刻に起きる	100	92.3	92.5



(状況)

- ・「朝食を食べている」の割合については、全国平均とほぼ同様となっています。
- ・「寝る時刻」の割合については、全国平均よりもやや高くなっています。
- ・「起きる時刻」の割合については、全国平均よりも高くなっています。

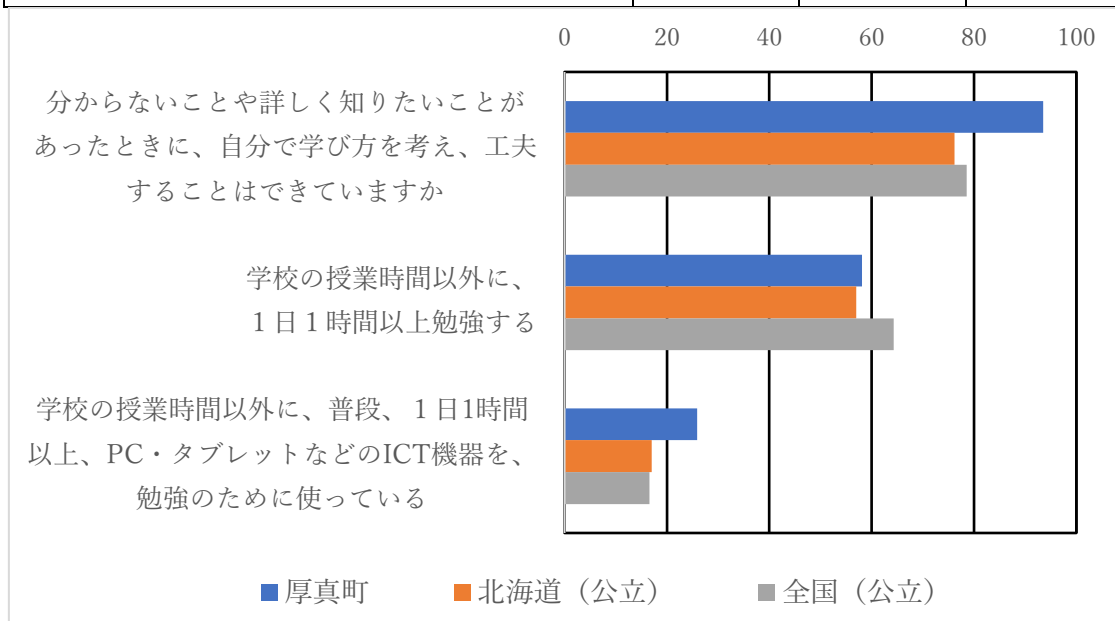
【今後の方策】

町内で取り組んでいるメディアコントロールチャレンジの充実、また、生活習慣の改善に向けた学校と家庭との連携をさらに推進して参ります。

【学習習慣】

質問の内容（数値は、「%」を表しています）

質問項目	厚真町	北海道 (公立)	全国 (公立)
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできているか	93.5	76.2	78.6
学校の授業時間以外に、普段、1日1時間以上勉強する	58.1	57	64.3
学校の授業時間以外に、普段、1日1時間以上、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っている	25.9	17	16.6



（状況）

- ・「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできているか」「学校の授業時間以外に、普段、1日1時間以上、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っている」の割合については、全国平均よりも高くなっています。
- ・「学校の授業時間以外に1日1時間以上勉強する」割合については、全国平均よりも低くなっています。

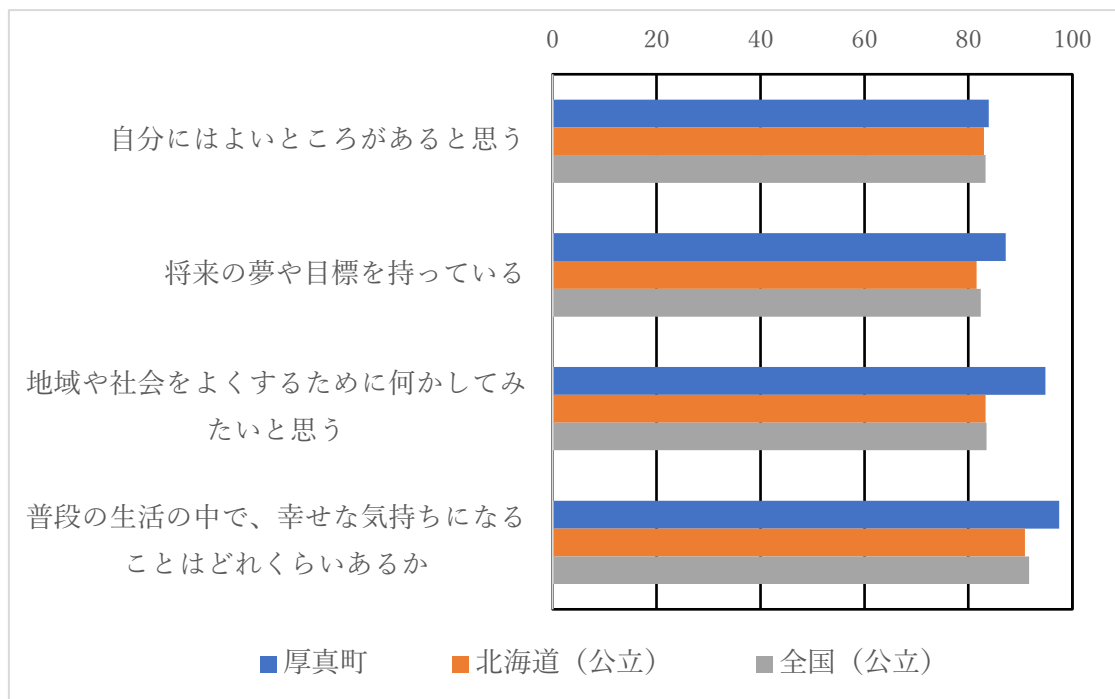
【今後の方策】

計画を立てて勉強している実態を考慮し、家庭学習等に主体的に取り組み、進路を見据えた取組ができる生徒の育成に努めて参ります。ICT機器を活用した学習時間が、全国よりも上回っている結果が見られました。一層定着できるように学校とも効果的な利活用の在り方を検討して参ります。

【自尊意識、規範意識、地域社会等】

質問の内容（数値は、「%」を表しています）

質問項目	厚真町	北海道 (公立)	全国 (公立)
自分にはよいところがあると思う	83.9	83	83.3
将来の夢や目標を持っている	87.2	81.6	82.4
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	94.8	83.3	83.5
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいあるか	97.5	90.9	91.7



(状況)

- ・「自分にはよいところがあると思う」割合については、全国平均とほぼ同様となっています。
- ・「将来の夢や目標を持っている」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいあるか」という割合については、全国平均よりも高くなっています。

【今後の方策】

これらの項目において、全国平均よりも高くなりました。今後も道徳科を中心とした教科や総合的な学習の時間、学校行事等の機会を通して自分のよさに気づき伸ばす取組、また、自分たちの住むまちの未来について考えるふさと教育をさらに推進して参ります。